

慣用句

・・・特別な意味をもつようになった言葉。

年 組 番 氏名 ()

	慣用句	意 味
1	足を () にする	歩き疲れる様子。
2	() が折れる	非常に困難で努力を要する。
3	() と () の先	すぐ近くであること。
4	() を貸す	力になる。助力を与える。
5	涼しい ()	自分には関係ないという、そ知らぬ様子。
6	口が ()	秘密を守って話さないこと。
7	() を疑う	思いがけなくて信じられないこと。
8	() の仲	仲の悪いこと。
9	袋の ()	囲まれて逃げることもできないこと。
10	() 二つ	顔つきや姿が互いによく似ていること。
11	() があう	気が合うこと。
12	() のひと声	有力者のひと声で、議論が決まること。
13	() をかざる	本性をかくしていること。
14	() に物がはさまった	思っていることを率直に言わない、思われふりな言い方。
15	立て板に ()	すらすらよどみなく話すこと。
16	蟻のはい出るすきまもない	わずかなすきまもないほど周りが嚴重に囲まれていること。
17	() に乗った気持ち	不安がなく安心している気持ち。

18	() につく	職業や任務がその人にぴったりと合っていること。
19	() がつく	ものごとくに決着がつくこと。
20	() がつく	勝負の決定について異議をとなえること。
21	() をかける	もう一步で勝利が得られるという段階。
22	() 置く	自分よりすぐれた人に敬意を払い、遠慮すること。
23	() をくう	途中でほかのことに時間を使うこと。
24	() にあげる	知らぬふりをして放っておくこと。
25	隅に ()	意外な才能がありあなどれないこと。
26	開いた () がふちがらない	驚きあきれる様子。
27	取るに足らない	全く問題にする価値もない。
28	情けは人のためならず	
29	気のおけない	
30	こぼろ抜き	
31	() にもかけない	問題にしない。相手にしない。
32	() の乾かぬうち	言い終わってすぐに、前と内容の違うことを言うこと。
33	() を踏む	しりこみすること。
34	() を演ずる(ふむ)	後から人のまねをすること。前の人と同じ失敗を繰り返すこと。

慣用句・・・特別な意味をもつようになった言葉。

年 組 番 氏名 ()

	慣用句	意 味
1	足を棒にする	歩き疲れる様子。
2	骨が折れる	非常に困難で努力を要する。
3	目と鼻の先	すぐ近くであること。
4	手を貸す	力になる。助力を与える。
5	涼しい顔	自分には関係ないという、そ知らぬ様子。
6	口がかたい	秘密を守って話さないこと。
7	耳を疑う	思いがけなくて信じられないこと。
8	犬猿の仲	仲の悪いこと。
9	袋のねずみ	囲まれて逃げるこののできないこと。
10	瓜二つ	顔つきや姿が互いによく似ていること。
11	馬があらう	気が合うこと。
12	鶴のひと声	有力者のひと声で、議論が決まること。
13	猫をかぶる	本性をかくしていること。
14	奥歯に物がはさまったよう	思っていることを率直に言わない、思わせふりな言い方。
15	立て板に水	すらすらよどみなく話すこと。
16	蟻のはい出るすきまもない	わずかなすきまもないほど周りが嚴重に囲まれていること。
17	大船に乗った気持ち	不安がなく安心している気持ち。

18	板につく	職業や任務がその人にぴったりと合っていること。
19	けりがつく	ものごとくに決着がつくこと。
20	物言いがつく	勝負の決定について異議をとなえること。
21	王手をかける	もう一歩で勝利が得られるという段階。
22	一目置く	自分よりすぐれた人に敬意を払い、遠慮すること。
23	道草をくう	途中でほかのことに時間を使うこと。
24	棚にあげる	知らぬふりをして放っておくこと。
25	隅に置けない	意外な才能がありあなどれないこと。
26	開いた口がふさがらない	驚きあきれる様子。
27	取るに足らない	全く問題にする価値もない。
28	情けは人のためならず	人にかける情けは、めぐりめぐって自分に還ってくる。
29	気のおけない	遠慮をする必要がない。
30	ごぼう抜き	大勢の中から、一人ずつを引き抜くこと。
31	歯牙にもかけない	問題にしない。相手にしない。
32	舌の根の乾かぬうち	言い終わってすぐに、前と内容の違うことを言うこと。
33	一一の足を踏む	しりごみすること。
34	一一の舞を演ずる（ふむ）	後から人のまねをすること。前の人と同じ失敗を繰り返すこと。